

2011年10月悪石島における昆虫記録

金井賢一¹・守山泰司²・中村京平²

The recorded insects on Akuseki-jima (Tokara Islands) in October of 2011

Kenichi KANAI¹, Taiji MORIYAMA² and Kyohei NAKAMURA²

はじめに

2011年10月に筆者らはトカラ列島悪石島の昆虫を調査する機会を得た。ここにその結果を公表する。

十島村は2004年に昆虫保護条例が制定されたことにより、記録の蓄積が難しくなっている。そこで県立博物館では基礎情報の収集・発表を目的とした調査を継続している。悪石島のこれまでの調査では廣森（2003）において48科96種が、江平（1993）において21科34種が、福田・守山（1988）において19科61種が記録されている。今回我々は42科75種を記録できた。口之島や中之島に比べてフェリーとしまの到着時刻が遅く、記録が集積しにくい悪石島だが、渡瀬線をはさむ位置から考えても、非常に重要な地域と考えられる。今後も機会を作って、情報集積を続けていきたい。

なお、今回の調査のために便宜を図っていただいた十島村に深く感謝すると共に、記録の発表が遅れていることをお詫びする。

1 調査の日程（図1参照）

10月7日（金）23：50 鹿児島発フェリーとしま

10月8日（土）10：50 悪石島着

上集落～浜集落～荷積岬～ノンゼ岬～大峰牧場～御岳～上集落。夕食後上集落内にて夜間採集：島内の移動は全てレンタカーにて行った。

10月9日（日）（午前中）徒歩にて上集落で採集。

（午後）レンタカーにて浜集落（守山は徒歩で上集落～女神山麓）～御岳～上集落。夕食後上集落内にて夜間採集。

10月10日（月）雨天のため採集できず

9：30 悪石島発フェリーとしま

20：30 鹿児島着

* 悪石島はほぼ全域がリュウキュウチクに覆われた植物相で、採集の好適地は上集落、浜集落と池周辺、御岳への登山途中の空き地程度しか見いだせなかった。特に上集落内の道路沿いにはタイワンツバメシジミの食草であるシバハギが多数見られ、ヒメシルビアシジミの食草であるコツブノウマゴヤシも見られたが、今回は両種とも確認できなかった

2 調査者

金井賢一：鹿児島県立博物館学芸主事

守山泰司：鹿児島県立博物館外部協力者，鹿児島昆虫同好会

中村京平：鹿児島県立博物館外部協力者，鹿児島昆虫同好会



図1 悪石島調査地

3 調査結果

以下に採集・観察した昆虫を記す。なお、採集者を金井：K，守山：M，中村：Nと略記する。目や種の配列は琉球列島産昆虫目録（2002）を基本にし

¹ 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

² 鹿児島昆虫同好会

たが、新分類体系などになった場合には適宜改訂した。なお、採集年は全て2011年なので省略した。

チョウ目の項にある*印は、意識して探したが見つからなかった種類を示している。

ゴキブリ目(蜚蠊目) **BLATTARIA**

ゴキブリ科 **Blattidae**

ワモンゴキブリ *Periplaneta americana*

上集落(多数目撃, 撮影N 8. X) (図2)



図2 集落内に見られたワモンゴキブリ(N)

マダラゴキブリ科 **Epilampridae**

サツマゴキブリ *Opisthopteria orientalis*

上集落(1ex. 撮影N 9. X)

トカラマダラゴキブリ *Rhabdoblatta takarana*

上集落(1♀K 1ex. 撮影N 8. X, 2♀N 9. X) (図3)

日本産ゴキブリ類(朝比奈, 1991)では、「宝島において得られたメス個体だけ知られる。オス標本が得られるまで種としての独立性には多少問題があるだろう」と書かれている。この本に示されている前胸背は黒色棒状の模様だが、今回得られた個体はマダラ模様になっており、違和感がある。分類上不明な点があり、現在鹿児島大学農学研究科生物生産学専攻病害虫制御学講座に標本を提供している。



図3 トカラマダラゴキブリ(N)

マルゴキブリ科 **Perisphaeridae**

ヒメマルゴキブリ *Trichoblatta pygmaea*

上集落(1♀K 9. X)

カマキリ目(螳螂目) **MANTODAE**

ヒメカマキリ科 **Acromantidae**

ヒメカマキリ *Acromantis japonica*

上集落(1ex.K 8. X)

カマキリ科 **Mantidae**

チョウセンカマキリ *Tenodera angustipennis*

上集落(1♂N 8. X, 1♂K 9. X)

バッタ目(直翅目) **ORTHOPTERA**

クツワムシ科 **Mecopodidae**

タイワンクツワムシ *Mecopoda elongata*

上集落(2♂K 9. X)

ツコムシ科 **Phaneropteridae**

ヒメクダマキモドキ *Phaulula macilenta*

上集落(1♂K 1♂2♀N 9. X)

オンブバッタ科 **Pyrgomorphidae**

オンブバッタ *Atractomorpha lata*

上集落(2♂3♀K 8. X), 浜集落(1♂K 8. X)

イナゴ科 **Catantopidae**

タイワンハネナガイナゴ *Oxya chinensis*

上集落(1♀K 1♀N 9. X)

バッタ科 **Acrididae**

マダラバッタ *Aiolopus thalassinus*

荷積岬(1♂1♀K 8. X), 浜集落(1♂K 8. X)

トノサマバッタ *Locusta migratoria*

荷積岬(1♂K 8. X)

ナナフシ目(竹節虫目) **PHASMATODEA**

ナナフシ科 **Phasmatidae**

トゲナナフシ *Neohirasea japonica*

上集落(1♀K 1♀撮影N 8. X)

琉球列島産昆虫目録(2002)ではナナフシ科 Phasmatidaeではなく、Heteronemiidae(日本語に対応する科名記述なし)に分類されているが、ここではナナフシ科として扱った。

ヨコバイ目(同翅目) **HOMOPTERA**

セミ科 Cicadidae

ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi*

浜集落 (1♂の鳴き声を聴く M, N 8. X)

姿は確認できなかったが、分布情報からニイニイゼミと判断した。

クマゼミ *Cryptotympana facialis*

浜集落 (1羽化殻目撃 M 8. X)

クロイワツクツク *Meimuna kuroiwaie*

上集落 (1♀撮影 N 8. X), 浜集落 (少数の鳴き声を聴く K 9. X)

カメムシ目 (異翅目) HETEROPTERA

オオホシカメムシ科 Laegidae

ヒメホシカメムシ *Physopelta cincticollis*

浜集落 (1ex.K複数撮影 N 8. X), 上集落 (1ex.K 9. X)

ヘリカメムシ科 Coreidae

ホソハリカメムシ *Cletus trigonus*

ノンゼ岬 (2exs.K 8. X)

カメムシ科 Pentatomidae

クサギカメムシ *Holyomorpha halys*

上集落 (1ex.N 9. X)

チャバネアオカメムシ *Plautia stali*

上集落 (1♂2♀ K 9. X)

コウチュウ目 (甲虫目) COLEOPTERA

オサムシ科 Carabidae

キガシラアオアトキリゴミムシ *Calleida lepida*

上集落 (1ex.K 9. X)

ヘリアオアトキリゴミムシ *Calleida splendidula*

上集落 (1ex.K 9. X)

ヒメケゴモクムシ *Harpalus jureceki*

上集落 (2exs.K 9. X)

ニセクロゴモクムシ *Harpalus simplicidens*

上集落 (1ex.K 9. X)

コゴモクムシ *Harpalus trident*

上集落 (1ex.N 9. X)

クワガタムシ科 Lucanidae

トカラネブトクワガタ *Aegus laevicollis abei*

上集落 (1♂ N 9. X)

コクワガタ (トカラ亜種) *Dorcus rectus kobayashii*

上集落 (1♂ N, 9. X)

ルイスツノヒョウタンクワガタ *Nigidius lewisi*

上集落 (3exs.複数撮影 N 9. X) (図4)

アマミノコギリクワガタ (トカラ列島亜種)

Prosopocoilus dissimilis elegans

上集落 (1♂ K 3♂ N 8. X)

10月にもかかわらず、集落の街灯に飛来している個体があった。本来であれば、来夏まで蛹室内で過ごすのかも知れない。



図4 ルイスツノヒョウタンクワガタ (N)

コガネムシ科 Scarabaeidae

フトスジカンシヨコガネ *Apogonia bicarinata*

上集落 (5exs.K 9. X)

タマムシ科 Buprestidae

ウバタマムシ *Chalcophora japonica*

上集落~浜集落 (1ex.目撃 N 8. X)

ケシキスイ科 Nitidulidae

アカマダラケシキスイ *Lasiodyctylus pictus*

上集落 (4exs.K 9. X)

テントウムシ科 Coccinellidae

オオフタホシテントウ *Lemnia bipagiata*

上集落 (1ex.N 9. X)

ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae

アカモンキゴミムシダマシ (図5)

Diaperis sanguineipennis sinensis

上集落 (1ex.撮影 N 8. X, 1ex.K 9. X)



図5 アカモンキゴミムシダマシ (N)

カミキリムシ科 **Cerambycidae**

ヨコヤマヒメカミキリ *Ceresium holophaeum*

上集落 (3 exs.K 9. X)

ムツボシシロカミキリ *Olenecamptus taiwanus*

上集落 (1 ♂ 1 ♀ N 9. X) (図6)



図6 ムツボシシロカミキリ (N)

トカラキボシカミキリ *Psacotheta hilaris macronotata*

上集落 (1 ♂ K 9. X)

ハムシ科 **Chrysomelidae**

ウリハムシ *Aulacophora femoralis*

上集落 (1 ex.N 9. X)

ヒゲナガゾウムシ科 **Anthribidae**

シロモンオオヒゲナガゾウムシ

Mecotropis kyushuensis

浜集落 (1 ♂ K 8. X)

ミツギリゾウムシ科 **Brentidae**

ヨツモンミツギリゾウムシ *Baryrhynchus tokarensis*

上集落 (1 ♂ 撮影 N 8. X) (図7)



図7 ヨツモンミツギリゾウムシ (N)

ハチ目 (膜翅目) **HYMENOPTERA**

ミツバチ科 **Apidae**

アマミクマバチ *Xylocopa amamensis*

上集落 (3 ♀ K 1 ♀ 撮影 N 9. X) (図8)



図8 盗蜜するアマミクマバチ (N)

雄しべのある花卉側ではなく、蜜がたまっている根元に穴を空けて吸蜜することは、植物にとって不利益のみ生じる行為である。

ドロバチ科 **Eumenidae**

オオフトオビドロバチ

Anterhynchium flavomarginatum

上集落 (2 ♀ K 1 ♀ N 9. X)

フカイドロバチ *Rhynchium quinquecinctum*

上集落 (1 ♀ K 9. X)

アリ科 **Formicidae**

ユミセオオアリ *Camponotus kaguya*

上集落 (2 ♀ K 8. X, 1 ♀ K 8 ♀ N 9. X)

南方系のオオアリの一種である。集落内のヤブや神社の樹上など、数多く見られた。大型働きアリと小型働きアリの両方が採集できた。

ツチバチ科 **Scoliidae**

アカアシハラナガツチバチ

Megacampsomeris mojiensis

御岳 (4 ♂ K 9. X), 上集落 (1 ♂ K 9. X)

アナバチ科 **Sphexidae**

クロアナバチ *Sphex argentatus*

御岳 (1 ♀ K 9. X), 上集落 (1 ♀ K 9. X)

チョウ目 (鱗翅目) **LEPIDOPTERA**

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

上集落 (1 ♀ K 1 ♂ M 8. X)

各地で次種と共に見られたが、少なかった。

イチモンジセセリ *Parnara guttata*

御岳 (1 ex.K 1 ♂ M 9. X), 上集落 (7 exs.K 1 ♂ M 8. X, 1 ♂ M 9. X), 浜集落 (1 ex.K 9. X), 女神山 (1 ♂ M 8. X, 5 ♂ 2 ♀ M 9. X) 各地で普通に見られた。

アゲハチョウ科 *Papilionodae*

アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*

上集落 (1 ♂ M 9. X)

各地で見られたが、多くはなかった。

モンキアゲハ *Papilio helenus*

上集落 (1 ♂ K 8. X), 浜集落 (カラスザンショウより4齢幼虫3 exs.M 9. X) 各地で普通に見られた。

カラスアゲハ *Papilio dehaanii*

浜集落～御岳 (1 ♀ M 9. X)

各地で見られたが少なかった。

このほかアゲハ, ナガサキアゲハ, シロオビアゲハ, クロアゲハの記録があるが確認できなかった。

シロチョウ科 *Pieridae*

ツマグロキチョウ *Eurema laeta*

浜集落 (1 ♂ 秋型 M 8. X), 女神山 (1 ♂ 秋型 M 9. X)

悪石島初記録。迷蝶。このほかには見られなかった。

キタキチョウ *Eurema mandarina*

女神山 (1 ♂ 秋型 M 9. X)

このほかには見られなかった。

ウスキシロチョウ *Catopsilia pomona*

浜集落～御岳 (1 ♀ K 9. X)

ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*

上集落 (1 ♂ 3卵 M 8. X, 2 ♂ K 2 ♂ M 9. X) 女神山 (1 2卵 M 9. X)

上村集落, 女神山山麓にはギョボク幼木～成木が多数あり, 普通に見られた。

* ナミエシロチョウ *Appias paulina*

悪石島は本種の食草ツゲモドキの北限で, 採集記録も少なからずあり, 定着の可能性を指摘されている(北限?) が, 今回は確認できなかった。

このほかモンシロチョウ, モンキチョウの記録があるが確認できなかった。

シジミチョウ科 *Lycaenidae*

ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

上集落 (1 ♂ 1 ♀ K 1 ♂ M 8. X, 1 ♂ 2 ♀ K 9. X), 御岳 (1 ♂ K 9. X), 浜集落 (2 ♂ M 8. X), 女神山 (1 ♂ 1 ♀ M 9. X) 各地で普通に見られた。

ルリシジミ *Celastrina argiolus*

上集落 (1 ♀ M 1 ♀ K 9. X), 女神山 (1 ♀ M 9. X) 各地で見られたが, 少なかった。

ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

上集落 (1 ♀ M 9. X)

各地で見られたが, 多くはなかった。

クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

荷積岬 (2 ♂ K 8. X), 上集落 (1 ♀ K 8. X, 1 ♀ K 9. X), 浜集落 (2 ♀ M 8. X)

各地のソテツに本種の食害痕が多数あり, 普通に見られた。

* ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

食草として記録のあるハイメドハギ, ヤハズソウは各地でみられたが, 多くはなかった。入念な探索を行ったが, 確認できなかった。

* タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

上集落周辺の路肩, 荒地, 学校のグラウンドなどに食草のシバハギは普通に見られた。ちょうど開花期で成虫の発生期と思われ, 入念な探索を行ったが確認することはできなかった。

* タイワンクロボシシジミ *Megisba malaya*

中之島が北限とされる。食樹アカメガシワの周辺を入念に探索したが確認できなかった。

このほかアマミウラナミシジミの記録があるが確認できなかった。

タテハチョウ科 *Nymphalidae*

ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*

浜集落～御岳 (1 ex.K 9. X), 女神山 (1 ♂ M 9. X) 各地に普通に見られた。

アカタテハ *Vanessa indica*

御岳 (1 ex.K 9. X), 浜集落～御岳 (1 ♂ M 1 ex.K 9. X), 上集落 (1 ♂ M 9. X)

各地で普通に見られた。カラムシで幼生期も確認している。

イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas mabella*

上集落 (1 ex.K 9. X)

ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

浜集落～御岳 (1 ♀ K 9. X)

各地でみられたが、少なかった。

リュウキュウアサギマダラ *Radena similis*

上集落 (1 ♂ M 8. X), ノンゼ岬 (1 ♂ K 8. X), 浜集落 (1 ♂ M 8. X), 浜集落～御岳 (1 ♀ K 9. X), 女神山 (2 ♂ M 9. X)

浜集落 (温泉付近), 女神山には食草となるツルモウリンカが普通にみられ, マダラチョウ科の食痕はみられたが, 本種幼生期の確認はできなかった。

アサギマダラ *Parantica sita*

上集落 (1 ♂ 1 ♀ N 9. X), 浜集落～御岳 (1 ♀ K 9. X)

カバマダラ *Danaus chrysippus*

浜集落～御岳 (1 ♂ M 9. X)

トウワタ群落で採集したが, 幼生期を含めほかには確認できなかった。

このほか記録のあるテングチョウ, ルリタテハ, タテハモドキ, ウスイロコノマチョウは確認できなかった。

ツトガ科 Crambidae

シロオビノメイガ *Hymenia recurvalis*

上集落 (1 ex.K 8. X)

ワタヘリクロノメイガ *Diaphania indica*

上集落 (1 ex.K 8. X)

スズメガ科 Spingidae

ホシホウジャク *Macroglossum pyrhosticta*

浜集落～御岳 (1 ex.K 9. X)

カイコガ科 Bonbycidae

クワコ *Bombyx mandarina*

上集落 (1 ex.N 8. X)

ドクガ科 Lymantriidae

ゴマフリドクガ *Somena pulverea*

上集落 (1 ♀ K 8. X)

ヒトリガ科 Arctiidae

クワゴマダラヒトリ *Lemyra imparilis*

上集落 (3 ♂ 2 ♀ K 8. X)

ヤガ科 Noctuidae

キマエコナハ *Eudocima salaminia*

上集落 (1 ex. 撮影 N 8. X)

ナカウスツマキリヨトウ *Calloptristria maillardi*

上集落 (2 ♂ K 8. X)

ハスモンヨトウ *Spodoptera litura*

上集落 (1 ex.K 8. X)

おわりに

2012年秋に十島村に対して採集許可申請をした際, 許可がなかなか下りないことがあった。事情を伺うと, 許可申請をした人が知人を同行し, 許可があるからとクワガタムシを大量に捕獲・持ち出す事例が起こったとのことであった。島民には採集が許されているが, 条例ができて以来, 親戚の子どもが来た際にも採集を控えている地元住民が多い中で, 今回生じた事件に十島村役場では心を痛めていた。

標本の作製・甲虫類の同定に手間取り, なかなか報告がスムーズに出せていないが, 我々は採集した記録を目録として世に出し, 他の研究者にも役立ててもらえるようにしている。今回の報告では4種類のクワガタムシを捕獲しているが, 今後はクワガタムシに関しては十島村の意思を尊重して採集しないように心がけるつもりである。

ここ数年間の十島村での我々の調査は, 昆虫相の解明の他に「ヒメシルビアシジミの分布拡大の把握」「タイワンツバメシジミの島嶼域での分布確認」という2つのテーマで取り組んでいる。前者についてはだいぶデータが集まり, 数年内にまとめの論文が学会誌に投稿できそうなどころまで調査が進んできた。今後もスムーズに調査・研究が進められると共に, 県立博物館として資料の充実を図り, 近いうちに「企画展: 十島村の自然」というような形で, いままでの調査結果を県民に披露できるように, 努力していきたい。

引用文献

朝比奈正二郎 (1991) 日本産ゴキブリ類, 253pp. 中山書店, 東京都。

江平憲治 (1993) トカラ列島・悪石島, 10月の昆虫. 鹿児島県立博物館研究報告書, 12:15-18.

福田晴夫・守山泰司 (1987) トカラ悪石島, 1987年8月の調査記録. *Satsuma*, 99:11-16.

廣森敏昭 (2003) トカラ列島悪石島, 2002年8月の昆虫. 鹿児島県立博物館研究報告書, 22:75-82.

屋富祖・金城・林・小濱・佐々木・木村・河村 (2002) 増補改訂琉球列島産昆虫目録, 570pp. 沖縄生物学会, 沖縄県。